



社団法人 石川県情報システム工業会



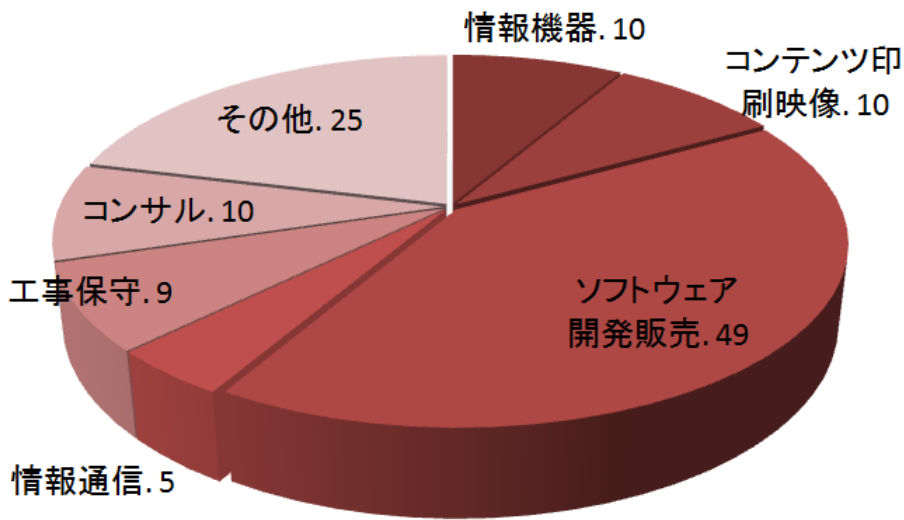
ご紹介

(社)石川県情報システム工業会

概要

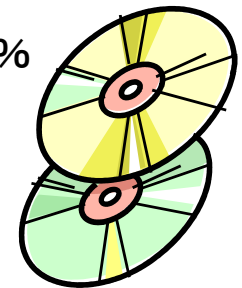
発 足： 1986年（昭和61年）4月 26年目
会 員 数： 120社（平成24年3月末現在）

会員数



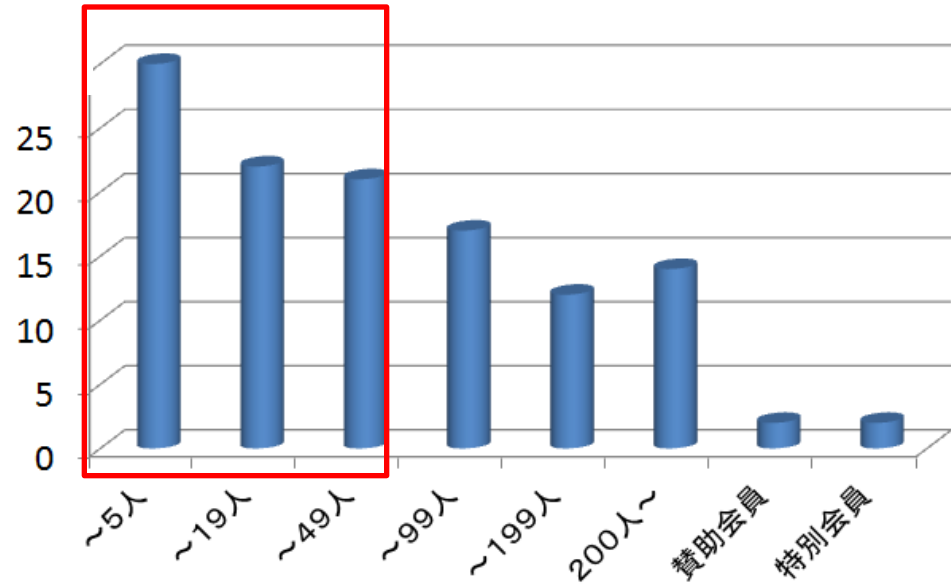
◆ソフトウェアの開発販売業が41%

◆翻訳業、教育機関も会員



従業員数

■会員の61%が50人未満の企業



活動内容

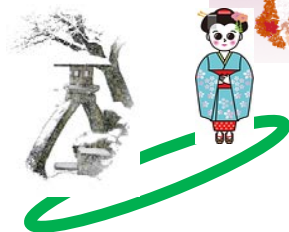
第27回 いしかわ情報システムフェア
ICTビジネスマーケット
emesse
kanazawa 2012

○ e-messe Kanazawa27回

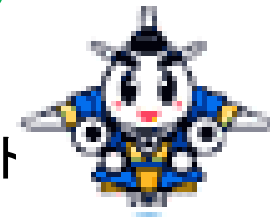
○ COMPUTEX TAIPEI



○ 東山茶屋街WiFiスポット提供



○ 小松空港バスWiFi接続社会実験プロジェクト



○ スマホアプリ開発者100人育成(3年間)

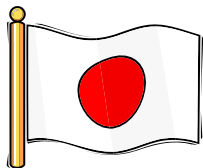


○ ライフクラウド研究会



○ 北陸ICT戦略ミッション(韓国)にて
韓国ソフトウェア専門企業協会とMOU締結





地域活性化プロジェクト

観光クラウド対応



石川県情報システム工業会

概要

概要

石川県には、自然や伝統遺産をはじめとした観光資源が豊富に存在しており、これまでは、各々の観光協会や観光課がサーバーを持ち情報発信してきた。

今後は、クラウドコンピューティングに代表される「場」を共有し、そこで繰り返される少額の取引を収入源とし長期的な関係を構築することがビジネスモデルとなると考えます。

我々は、まず観光情報に関して、本ビジネスモデル「地域活性化プロジェクト:地域クラウド」を多くの皆様方と共有し推進して行きたいと思っております。

また、本プロジェクトは一企業、一団体が実施するのではなく、地域の産官学が協力し推進することに意義があると考えます

期待される効果

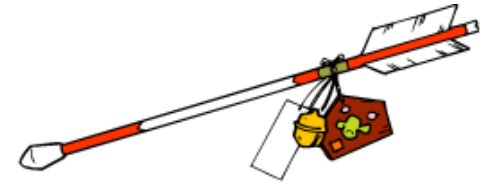
- ・グローバル化を視野に入れた海外各国客の増加に期待！
- ・情報提供者とIT産業界が相互に協力しながら観光客に利便性のあるコンテンツを活用した観光地域クラウドを構築！
- ・すそ野が広い観光産業の振興！ → 他産業にも波及効果
- ・ログ情報を解析提供することにより、観光分析が可能！ → 観光客対策に活用



データの地産地消



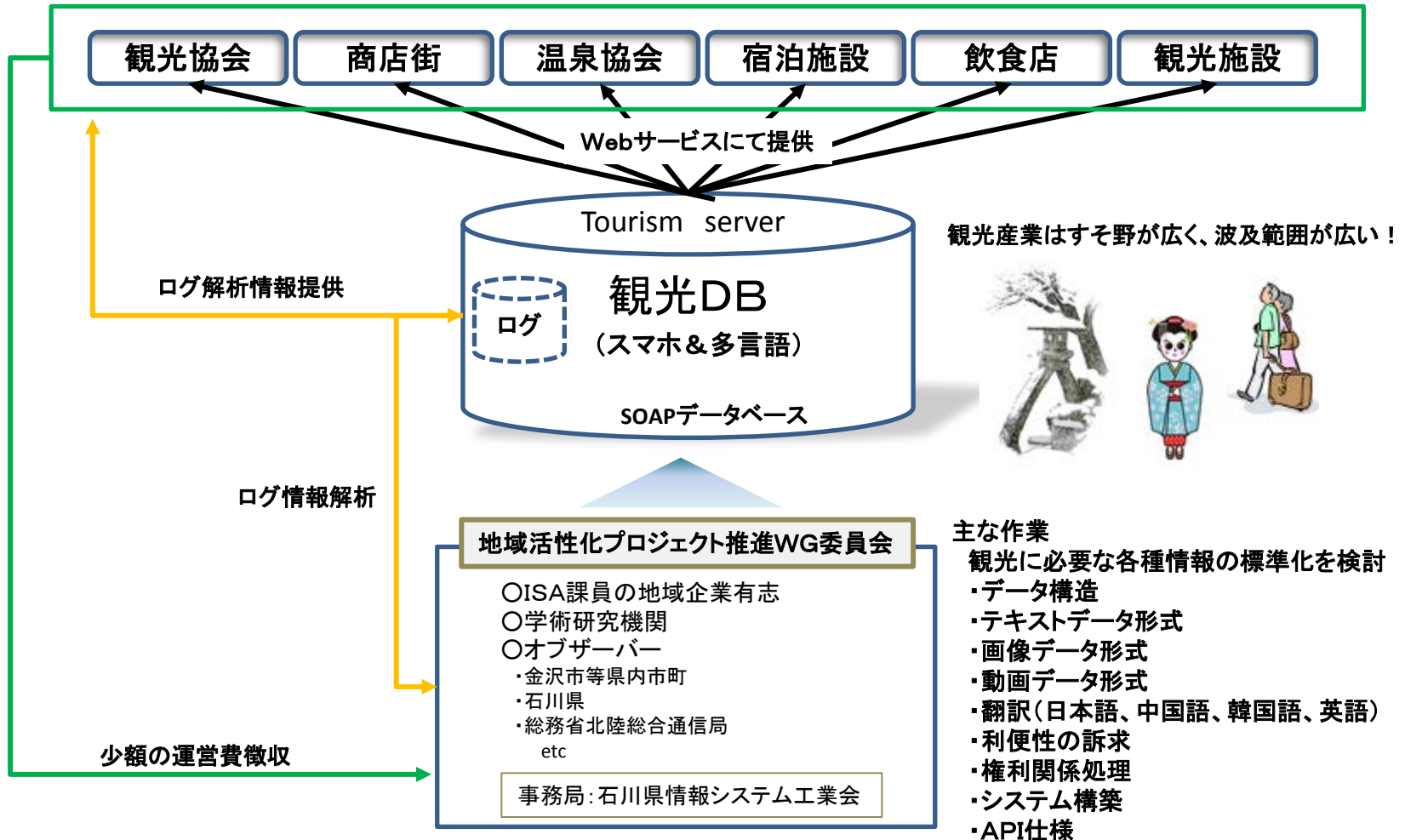
データの地産地商



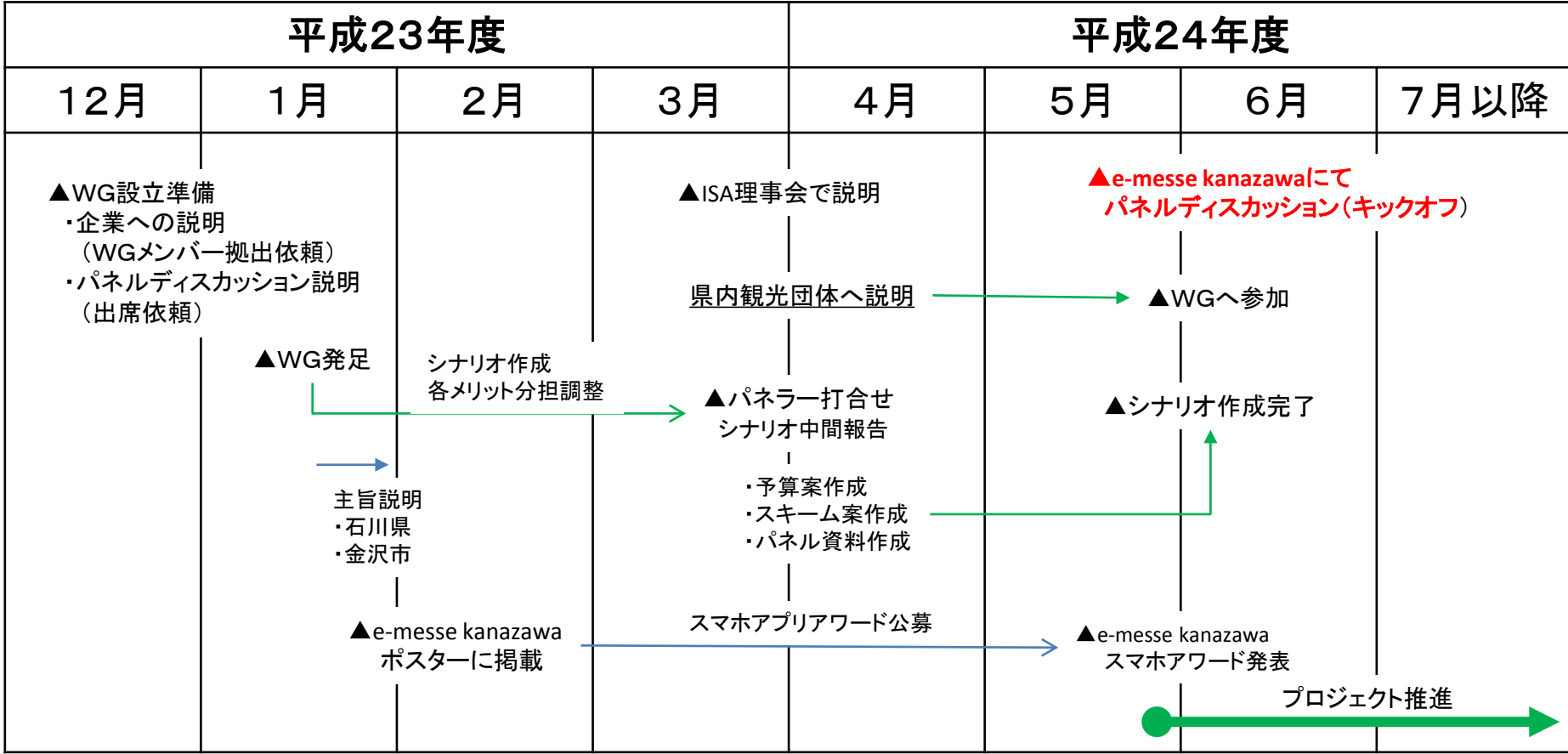
プロジェクトイメージ



観光客



スケジュール



- | ▲パネルディスカッションパネラー(候補) | WGメンバー |
|----------------------|----------|
| ◎三谷産業 | 社長 → 社員 |
| ◎PFU | 社長 → 社員 |
| ◎石川コンピュータセンター | 社長 → 社員 |
| ◎NTT西日本 | 支店長 → 社員 |
| ▲コーディネーター | |
| ◎アイ・オー・データ機器 | 社長 → 社員 |

WGメンバーには学術研究機関として
大学教授を招聘予定。